

峠の向こうは春

三者懇談に向けて考えてほしいこと

今週木曜日から、三者懇談が行われます。その三者懇談では、大きく分けて次の二つのことが話題になると思います。

一つ目は、3年生に進級してから、クラスの仲間とつながりを深めてこれたかどうか、人として成長したことは何か、あるいは課題は何かなどが話題にされると思います。親であれ教師であれ、まず気になるのが、友だちと仲良く生活できているかどうか、健康に不安なく元気に過ごせているかどうか、これは小学校1年生でも中学校3年生でも同じです。もし、不安があれば遠慮なく相談にのってもらいましょう。そして、解決への道筋を共に考えましょう。

そして、二つ目は、来年の4月には新しい道を歩んで行かなければなりません。そのためにみなさんがどんな希望を持っているのか、そのためにどんな力をつけてきたのか、また課題は何か、などを明らかにして、夏休みの目標なり計画なりをはっきりさせることです。この点で、みなさんは、現在の自分の思いや意志をはっきり示し（まだ決められないも含めて）、分からないことがあれば質問をしましょう。三者懇談が、これまでの振り返りとなり、今後の目標に向かう決意の場となるように、実りあるものにしましょう。

さて、現在の日本では、小学校6年間と中学校3年間は義務教育です。この9年間、親は自分の子に学校教育を受けさせる義務があります。だから親は我が子が中学校を卒業した時点で学校教育を受けさせる義務から解放されるはずですが、

しかし、現実には我が子が「進学したい」と希望すれば、親は高校などの上級学校に入学できるように支援をするので、「子どもに教育を受けさせる」という負担は続きます。

現在、年収約910万円以下の家庭には、国が公立高校の授業料を全額補助しています。だから、公立高校に進学した場合は、これにあてはまるご家庭では、授業料を払う必要がありません。しかしこの場合でも、教科書や教材の費用、制服やその他の学用品、交通費、修学旅行の費用などは、親の負担となります。

私立高校に進学した場合も、上述の年収であれば、公立高校の授業料分118,800円は免除となり、さらに収入によっては、京都府のあんしん就学支援が受けられることとなります。今年度から、さらに手厚い支援が始まりました。三者懇談の際、資料をお渡しします。また、詳しくは、三中のホームページから進路情報として、京都府の修学支援について見ることができますし、文部科学省や京都府教育委員会のホームページから、「修学支援」と検索していただければ見ることができます。

このように義務教育以上の高等教育を受けようと思うと（我が子に受けさせようと思うと）、親は大きな負担を負うこととなります。

でも親は、できる範囲で、我が子の希望が実現できるように支援します。それは、子どもの将来が幸福になることを願うからです。

これらの話を聞いて、親に対して「悪いなあ・・・」「無理させてるなあ・・・」と引け目を感じる必要はありません。あなたが親からもらった支援は、あなたが大人になったときに、「親孝行」という形で返せばいいし、自分が親となったときに、自分の子どもを支援することで、次につないでいけば良いと思います。

とはいうものの、親の本音として、自分の支援が有効に活用され、成果があげられることを期待してしまいます。もしも我が子がいい加減な気持ちや、浮ついた見通しで進路に向き合うのであれば、気持ちよく支援できません。逆に今は納得できる成果があがってなくても、子どもが一生懸命に自分の課題に向き合い、努力しているのであれば、いつか成果があがると信じて気持ちよく支援できます。

中学3年生の時期に、親の気持ちに共感したり、意をくんで理解できる人は少数かもしれませんが。そのことを分かった上で、このような文章を書くのは、三者面談を迎える前に、自分の進路希望について、真面目に親と向き合っ、意志と決意を伝えて欲しいからです。

進路実現のためには、親の支援も必要です。そして、受験に向かうあなたの決意が何より不可欠です。

学習確認プログラムと復習テストをもう一度やろう！

この1学期、学習習慣の定着をテーマに、1・2年生の復習もスタートしたと思います。具体的には、5月の学習確認プログラムと6月の復習テストです。自分の実力を確かめるための機会だったと思います。一方で、3年生の1学期の学習も進めてきました。多くの人が3年生の勉強を頑張ったのではないのでしょうか。中には、3年生の学習は頑張った、結果も良くなったけれど、1・2年生の学習内容である学習確認プログラムや復習テストの点数が良くないという人が比較的多いことに気がつきます。このことは、つまり、1年生や2年生の学習で不十分だった部分が、「まだ放置されたまま」と言えます。このままだと、中学校から送る報告書の内容は良くても、入学試験では「点数が取れない」ことになりかねません。

有効な学習方法として紹介したいのは、学習確認プログラム（先日、問題用紙と模範解答が記載されている復習シートが各自に渡されました）と復習テストをもう一度やり直すことです。テストでも授業プリントでもやりっ放しの人ともう一度取り組む人では、定着に差があります。期末テストが終わって、「終わった、終わった」とほっと一息ついている人は、まずこの2つのテストの振り返りからスタートさせてみてはどうでしょうか。これも重要な受験勉強の一つです。